

工事事故防止行動計画 ニュースレター

今回は、工事事故防止に向けた富士土木事務所の取組について御紹介します。

富士土木事務所では、安全意識の啓発のため、広報活動に力を入れています。コロナ禍で対面の講習会等が実施できない中でも、受発注者が共に安全意識の維持・向上を図るよう取り組んでいます。

安全啓発ポスターの掲示



＜受注者が立ち寄る場所＞
受注者への書類返却スペースを活用

事務所の共有スペースを利用して、安全啓発ポスターを掲示。来所した受注者さんの目に留まるよう工夫しています。

SNSによる情報発信



ツイッターで、管内の工事現場で見つけたお手本となるような「安全対策事例」を紹介しています。

ホームページで情報共有



ホームページで、管内で発生した「工事事故事例」を紹介しています。原因と再発防止を分かりやすくまとめて、受注者の安全教育等にも活用されています。

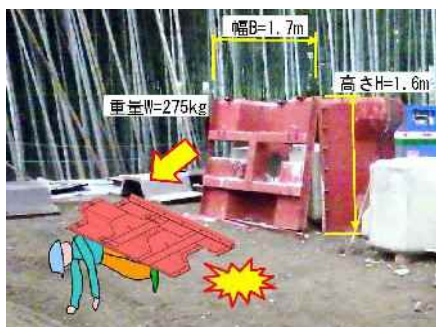
次ページに富士土木事務所で発生した事故の事例を紹介します。
年度末となり、労災事故も増えています。作業の正しい手順を遵守して工事事故を防止しましょう！

事 故 事 例

発生日時	令和4年1月10日（水） 午後3時35分頃			
災害の種類	労働災害	工事区分	根固製作工	
事故内容	鋼製型枠転倒による負傷	被災者	性別・年齢	男性・55歳
被災状況	骨盤骨折、入院2か月		職 業	作業員

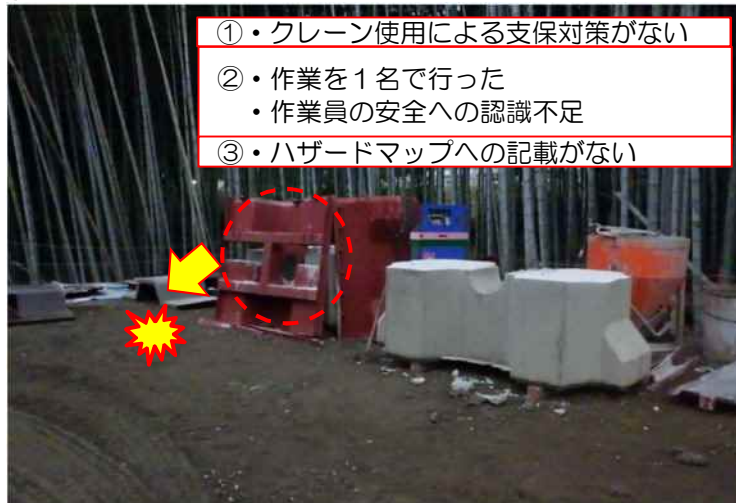
[災害の概要]

鋼製型枠の脱型作業中に、倒れてきた型枠に作業員が挟まれ負傷した。



作業員被災状況（推定）

[事故原因]



- ①・クレーン使用による支保対策がない
- ②・作業を1名で行った
・作業員の安全への認識不足
- ③・ハザードマップへの記載がない

安全対策前の現場状況

[再発防止策]

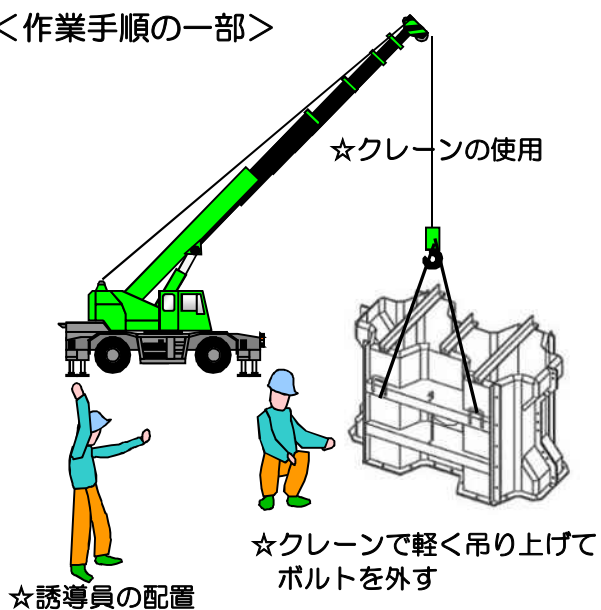
① 作業手順書の作成

- ・単独作業禁止
- ・クレーン使用による支保対策の徹底

② 作業員の安全意識向上

- ・KY活動での意見交換
- ・緊急安全会議の開催

<作業手順の一部>



☆誘導員の配置

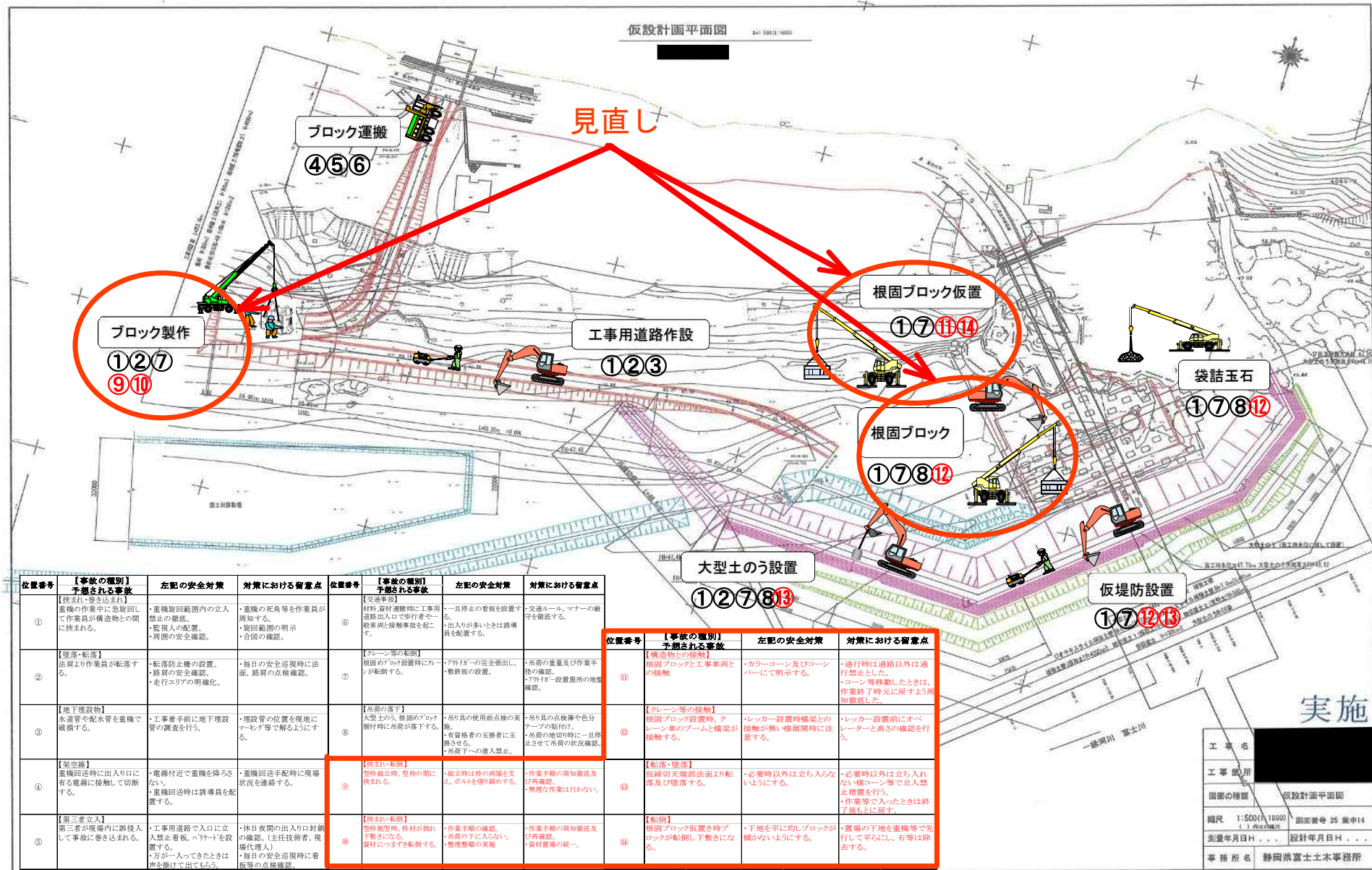


③ 工事事務ハザードマップの改善

- ・他の工種も併せてリスク抽出
- ・大きく見やすく

(ハザードマップは次ページ)

工事事故ハザードマップ



当初 8項目

見直し追加 6項目

実施

工事名	
工事箇所	
図面の種類	仮設計画平面図
縮尺	1:500(1:1000) 図面番号 25 表中14
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県富士土木事務所